



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月13日

上場会社名 イメージ情報開発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3803 URL http://www.image-inf.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 代永 拓史
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 清水 雄二 TEL 03(5217)7811
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	131	△15.3	△9	—	△8	—	43	—
2020年3月期第1四半期	155	△10.6	△24	—	△23	—	△27	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 107百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △30百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	21.81	—
2020年3月期第1四半期	△13.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	692	359	49.2	168.76
2020年3月期	589	252	40.0	116.96

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 340百万円 2020年3月期 235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	320	△10.0	1	—	2	—	59	—	29.55
通期	670	△3.3	8	—	10	—	68	—	33.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日(2020年8月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	2,080,000株	2020年3月期	2,080,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	63,759株	2020年3月期	63,759株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	2,016,241株	2020年3月期1Q	2,016,241株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言による外出自粛、小売業や飲食店の営業自粛などが大きく影響した個人消費の落ち込みにより景気の急速な悪化と先行きの極めて不透明な状況にあります。

当社グループの主要な事業領域である情報サービス業界においては、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたデジタルトランスフォーメーションによる新たな需要が継続的に活性化している一方で、新たに新型コロナウイルス感染症の拡大による在宅勤務、遠隔医療、遠隔授業などIT環境構築の需要も大きく顕在化してまいりました。

このような環境の中、当社グループは、全社員が感染拡大の防止に努めつつ、お客様への継続的かつ安定的なサービスの提供に努めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う営業活動の停滞及び子会社における一部事業の見直しの結果、売上高は131,734千円(前年同期比15.3%減)となりました。

利益面におきましては、プロジェクト管理の見直しによる売上原価の圧縮等により、営業損失は9,336千円(前年同期は営業損失24,624千円)、経常損失は8,216千円(前年同期は経常損失23,126千円)、投資有価証券の売却等に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は43,982千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失27,753千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結累計期間における流動資産の残高は418,883千円となり、前連結会計年度末に比べ16,690千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の減少17,659千円、受取手形及び売掛金の減少32,267千円、その他(預け金)の増加61,568千円によるものであります。固定資産の残高は273,241千円となり、前連結会計年度末に比べ85,464円増加となりました。これは主に投資有価証券が87,265千円増加したためであります。

この結果、総資産の残高は692,125千円となり前連結会計年度末に比べ102,154千円増加いたしました。

(負債)

流動負債の残高は101,790千円となり前連結会計年度末に比べ27,969千円減少しました。これは主に工事損失引当金が14,718千円、賞与引当金が13,104千円減少したためであります。固定負債の残高は230,777千円となり前連結会計年度末に比べ22,679千円増加しました。これは主に繰延税金負債が26,657千円増加したためであります。

この結果、総負債の残高は332,567千円となり前連結会計年度末に比べ5,289千円減少いたしました。

(純資産)

純資産の残高は359,557千円となり前連結会計年度末に比べ107,443千円増加しました。これは主に利益剰余金が43,982千円、その他有価証券評価差額金が60,459千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、49.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月20日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響について、合理的に算定することが困難であったことから、影響が想定されると判断された事業について予想を保守的に算定しておりましたが、当該影響について一定の精査がされたこと及び2020年7月2日に公表いたしました「投資有価証券売却益(特別利益)の計上に関するお知らせ」に伴う影響を勘案し、現時点における入手可能な情報をもとに改めて算定いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年8月13日)公表いたしました「2020年3月期連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	283,823	266,164
受取手形及び売掛金	95,777	63,510
仕掛品	1,487	4,951
貯蔵品	246	292
その他	21,992	84,513
貸倒引当金	△1,133	△547
流動資産合計	402,193	418,883
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	142,565	229,831
その他	45,211	43,410
投資その他の資産合計	187,777	273,241
固定資産合計	187,777	273,241
資産合計	589,970	692,125
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,957	18,969
未払法人税等	465	6,491
賞与引当金	20,299	7,194
工事損失引当金	24,686	9,968
その他	63,351	59,166
流動負債合計	129,759	101,790
固定負債		
退職給付に係る負債	143,381	138,629
繰延税金負債	39,659	66,316
その他	25,056	25,830
固定負債合計	208,097	230,777
負債合計	337,857	332,567

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	301,000	301,000
資本剰余金	9,257	9,257
利益剰余金	△109,038	△65,056
自己株式	△54,005	△54,005
株主資本合計	147,212	191,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88,608	149,067
その他の包括利益累計額合計	88,608	149,067
非支配株主持分	16,293	19,295
純資産合計	252,113	359,557
負債純資産合計	589,970	692,125

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	155,503	131,734
売上原価	133,221	105,599
売上総利益	22,281	26,134
販売費及び一般管理費	46,906	35,470
営業損失(△)	△24,624	△9,336
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	1
助成金収入	1,334	-
貸倒引当金戻入額	-	585
その他	162	533
営業外収益合計	1,497	1,119
経常損失(△)	△23,126	△8,216
特別利益		
投資有価証券売却益	-	61,640
特別利益合計	-	61,640
特別損失		
課徴金	6,000	-
減損損失	-	885
特別損失合計	6,000	885
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△29,126	52,538
法人税、住民税及び事業税	167	5,553
法人税等調整額	1,762	-
法人税等合計	1,929	5,553
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,056	46,984
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△27,753	43,982
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△)	△3,303	3,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74	60,459
その他の包括利益合計	74	60,459
四半期包括利益	△30,981	107,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,678	104,441
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,303	3,002

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2020年3月期まで2期連続して営業損失を計上したことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかしながら、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の実質的な手元資金残高は、「現金及び預金」の残高266,164千円及び「その他(預け金)」として証券口座の預金残高61,568千円の合計327,732千円であり、必要十分な運転資金を確保しております。よって、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないものと判断しております。

当社グループは、早期に業績の安定黒字化を実現し、当該状況の解消を図るべく、これまでに培ってまいりましたIT活用による顧客企業へのコンサルティング機能をさらに高め、以下の諸施策を実行してまいります。

ITソリューション事業の収益基盤の強化

①ITソリューション

当社グループは、企業システムのコンサルティング及び設計、開発、運用及び保守の業務を展開しており、長きにわたる優良顧客を安定基盤として持っております。当社グループは、当該顧客とのビジネスの深耕拡大を行うとともに、各種業界向けITソリューションの提供による新規顧客開拓により、売上の拡大を図ってまいります。

更に、製品やソリューションの横展開による原価の低減、プロジェクトマネジメント改善による採算性の厳格化、システム設計開発への人的資源の配賦を見直すことにより収益性の向上を図ってまいります。

②BPO・サービス

当社子会社は、会員管理・決済代行等のBPOサービスを金融機関等の新規顧客企業への導入を推進遂行するとともに、新たなテレワーク時代に適したBPO事業の新商品開発にも注力してまいります。